

# 議会だより



## 新年のご挨拶

山ノ内町議会議長 湯本 晴彦



謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、被害に遭われた方々とそのご家族に対しまして、謹んでお見舞いを申し上げます。

昨年は町長選挙に始まり、12年ぶりの町議会議員選挙が行われ、まさに改選の年でありました。選挙に際しては大変多くの方のご支援とご協力をいただきましたこと、心から御礼を申し上げます。

平澤町長が就任し、久保田副町長、竹内教育長と理事者がすべて変わりました。また議会も、6月より新体制で第19代議会がスタートいたしました。

町の新たな政策として、旅先納税や新たな形での夏まつりの開催に始まり、観光局の発足、アメリカコロラド州のベイル町との友好交流の再開、来年度に向けた大幅な組織改編、小学校1校統合問題の再検討など多くの事案が検討された1年だったのではないのでしょうか。

そのような中で、町議会議員選挙における買収疑惑での現職議員の起訴の件に

関しては、町民の皆様には多大なるご心配とご不安をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

私も議会議員としましても、議員全員による2回にわたるコンプライアンス研修を行い、議員としてのあり方を見つめ直して、姿勢を正す1年でした。今年1月からの議会報告会は、町内5会場で開催します。多くの参加者のご参加とともに、どうか忌憚のないご意見を賜れば幸いです。

今年2024年は辰年ということ、いろいろなことが立つ年、立ち上がってくる時だと思えます。新型コロナウイルス禍も明けて、経済もだいたい活発になりました。わが山ノ内町も、コロナ禍での停滞を取り戻す年だと思っております。持続可能な経済発展に向けて登り竜のごとく飛躍していける2024年であると確信しております。

町民の皆様におかれましても、令和6年が、ますますご隆盛、そしてご健康で幸多き年となることをお祈りして新年のご挨拶とさせていただきます。

第137号  
令和6年1月25日  
(2024)  
発行 山ノ内町議会  
責任者 議長 湯本 晴彦  
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡  
山ノ内町大字平穏3352-1  
☎0269-33-1101  
E-mail  
gikai@town.yamanouchi.lg.jp

議会ホームページは  
こちらから



議会フェイスブックは  
こちらから



### もくじ

新年のご挨拶……………20  
令和5年第5回定例会関連記事……………20  
一般質問……………22  
管外視察研修……………32  
請願・陳情・議会全員協議会……………34  
議会報告会・編集後記……………35

## 令和5年第5回定例会

### 一般職・特別職 給与を増額改定

第5回議会定例会は、11月30日に招集され、12月15日までの16日間にわたり開催されました。

町側からは各会計補正予算10件、指定管理者の指定7件、条例制定1件、条例の一部改正6件、人事案1件が提案され、議会側からは議員報酬及び費用弁償等の条例改正1件を提案しました。審議の結果、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。

### 人事院勧告による給与改定

令和5年度一般会計(号)、水道事業会計補正補正予算(第4号)、介護(第1号)については、人事院勧告実施にともなう一般職・特別職の給与の増額改定(4月に遡及して適用)によるものです。

### 令和5年度

#### 一般会計補正予算

(第5号)

こども医療費  
窓口完全無料化へ  
向け準備

歳入歳出予算総額にそれぞれ1億4382万円を追加し、78億413万円とするものです。

#### 《歳入の主なもの》

(国補) 価格高騰緊急支援  
給付事業補助金 9673万円

財政調整基金繰入金

△2億4542万円

前年度繰越金

2億7735万円

#### 《歳出の主なもの》

福祉医療費システム改修(窓口完全無料化準備) 30万円  
価格高騰緊急支援給付金(住民税非課税世帯7万円)

9800万円

町ロゴマーク作成業務

50万円



学校給食は子どもたちの元気の素

令和5年度一般会計補正予算(第6号)

5年度学校給食費を無料化

臨時交付金3229万円を活用

歳入歳出予算総額にそれぞれ3229万円を追加し、78億3643万円とするものです。

6年度からの小中学校外国語指導助手派遣業務(A LT3人から5人に増員)2750万円(6年度分の債務負担行為の補正を行います。

《歳入の主なもの》

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1億4140万円  
価格高騰緊急支援給付事業補助金 △9873万円

《歳出の主なもの》

物価高騰に伴う学校給食費支援事業 3229万円

条例の一部改正

役場の組織機構を見直し

教育委員会に「こども未来課」

山ノ内町組織条例

6年4月から役場の組織機構を見直します。

新たに未来創造課(地域づくり企画部門でDX推進室、ゼロカーボン推進室、移住国際交流推進室を付置)、住民税務課(賦課徴収部門、住民環境部門)、産業振興課(農林課と観光商工課を統合)、教育委員会にこども未来課(学校教育部門、児童福祉部門)と生涯学習課(生涯学習・ス

ポーツ部門、人権・同和政策部門)を設置します。

《未来創造課》

総合的な課題、新しい課題に取り組むため総務課を分割し、地域づくり企画部門の未来創造課を設置。DX推進室、ゼロカーボン推進室を付置します。

《産業振興課》

山ノ内まちづくり観光局の設置により、総合開発公社および観光プロモーション

《こども未来課》

やインバウンド推進業務を移管します。地域間連携事業や入湯税還元事業、観光統計などの業務や、商工労働部門は引き続き観光商工係が担当し、ブランド農業推進などと合わせ、農林課と観光商工課を統合します。

5年度人事院勧告に対応する改正で、給与等を4月に遡って増額改定するものです。

人事案件

教育委員会委員の任命 野竹重範 (下須賀川) 《任期》令和5年12月21日(9年12月20日)

一般会計補正予算(第4号)

賛成討論

渡辺 正男

人事院勧告に対応した給与と改定の補正に、会計年度任用職員が含まれていないのは残念。総務省は、非正規公務員の給与改定にかかる費用を地方交付税の増額補正で対応するとしている。「官製ワーキングプア」や「女性への間接的差別」を生む、とのそりは免れない。会計年度任用職員にも遡及適用すべき。今後、人権の効果が会計年度任用職員にもおよびよう、しかるべき配慮を強く求める。

条例の制定

公益法人等への職員の派遣条例

町総合開発公社が「山ノ内まちづくり観光局」となったことにもない、法に基づき町職員派遣に必要事項を定めるものです。

山ノ内まちづくり観光局 観光案内所オープン



湯田中駅にオープンした観光案内所(11月28日)

# ズバリここが知りたい

論戦

地球温暖化防止対策の推進、観光局、防災無線時報チャイム、ゼロカーボンシティ宣言、带状疱疹ワクチン接種助成、学校給食費無償化、小学校統合問題、ヘリカルCTの必要性、総合型地域スポーツクラブ設立に向けて、庁舎内の組織機構改編、新たな観光財源、など

12月4日、5日、6日の3日間にわたり行われ、登壇議員は9人、傍聴者は延べ40人でした。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね1時間）。

①	 高田 佳久	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算決算審査委員会における審査意見の反映を</li> <li>・ 地球温暖化防止対策の推進を</li> <li>・ 子ども権利条約の制定を</li> <li>・ 農業振興の推進を</li> </ul>
②	 塚田 一男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光局について</li> <li>・ 山ノ内消防署志賀高原分遣所の開設時間について</li> <li>・ 防災無線時報チャイムについて</li> </ul>
③	 小田 孝志	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和6年度一般会計予算について</li> <li>・ 建設関連工事の早期発注について</li> <li>・ 観光客向け案内の充実に向けて</li> <li>・ ゼロカーボンシティ宣言の今後のすすめ方について</li> </ul>
④	 徳竹 栄子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光局設立準備の内容について</li> <li>・ 今後の教育環境について</li> </ul>
⑤	 畔上 恵子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域支援事業の充実について</li> <li>・ 学校給食費等について</li> <li>・ 带状疱疹ワクチン接種助成の必要性について</li> </ul>
⑥	 湯本るり子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災無線について</li> <li>・ 学校給食費の無償化について</li> <li>・ 小学校の統合問題について</li> </ul>
⑦	 小林 仁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 志賀高原分遣所の24時間体制再開の必要は</li> <li>・ ヘリカルCTの必要性は</li> <li>・ ロマン美術館のスタッフ人員補填の進捗は</li> <li>・ 町議会議員の保育園・小中学校の行事参加について</li> <li>・ 総合型地域スポーツクラブについて</li> </ul>
⑧	 渡辺 正男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中学校での教育環境のあり方をどう考えるか</li> <li>・ 総合型地域スポーツクラブ設立の進捗状況は</li> <li>・ 国民健康保険特別会計と介護保険特別会計の現状と今後の見通しは</li> </ul>
⑨	 白鳥 金次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育について</li> <li>・ 庁舎内の組織機構の改編について</li> <li>・ ゼロカーボンパークについて</li> <li>・ 新たな観光財源について</li> <li>・ 防災無線定時チャイムの放送について</li> </ul>

# 地球温暖化対策の推進を

## 町長—6年度以降に区域施策編を策定する方針



たかだ よしひさ  
高田 佳久

※1 地方公共団体実行計画：地球温暖化対策推進法に基づく国の地球温暖化対策計画に即して、地方公共団体が作成する温室効果ガス排出量削減のための計画で、大きく分けて行政を対象とした「事務事業編」と地域全体を対象とした「区域施策編」があります。

※2 地域気候変動適応計画：気候変動影響に対応して、被害の防止・軽減その他生活の安定、社会もしくは経済の健全な発展、自然環境の保全を図ることを目的とした計画です。

※3 Jクレジット：省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO2等の吸収量をクレジットとして国が認証する制度です。

※4 カーボン・オフセット：温室効果ガス削減の努力をしても、やむを得ず排出する温室効果ガス（カーボン）を埋め合わせる（オフセット）ため、他の場所で排出削減や吸収の取り組みをしたり、事業に出資することです。

※5 みどりの食料システム戦略：環境に配慮し、食料・農林水産業の生産力を上げ、持続可能性を高めるために策定された方針です。

**【質問】** 令和5年3月に策定された地方公共団体実行計画（事務事業編）の公表は、**健康福祉課長** 毎年公表と計画に明記してあるが、現在公表はしていない。

**【質問】** 地球温暖化対策推進法では、実行計画の実施状況を毎年1回公表しなければならぬとあるが、**健康福祉課長** 年度末までに進捗管理の状況が把握でき次第、公表していく。

**【質問】** 気候変動適応法に基づく地域気候変動適応計画を含む区域施策編の策定を、**健康福祉課長** 6年度に設置予定の未来創造課のゼロカーボン推進室で地方公共団体実行計画（区域施策編）を策定していく。

**【質問】** 平成29・30年度の一般質問で、友好自治体の足立区とJクレジットを活用したカーボン・オフセット

### こどもも権利条例の制定を

の取り組みを提案したが、検討経過を含めた現状は、**健康福祉課長** 経過は承知していないが、ゼロカーボン推進室で調査研究をすすめていくべきかと。

**【教育長】** 教育委員会では、こどもを真ん中に学校・保護者・地域が連携し、こどもの安心・自信・自由が保障される環境づくりに向けた条例制定の検討が必要。

**【質問】** 竹内教育長の思いと条例制定に対する考えは、**教育長** 法律の理念に基づ



STOP GLOBAL WARMING 《地球温暖化の防止》

く条例の制定を前向きに議論し具現化することは、町の未来をつくる上でも重要な政策のひとつ。

こどもを町民のひとりとしてしっかり尊重し、議論に加わる体制をつくる上で、こどもの権利に関する条例の制定は、極めて必要不可欠と感じる。

**予算決算審査における部会意見の反映を**

**【質問】** 今後も部会意見に対する現状報告の実施は、**町長** 町民を代表する議会の意見として、真摯に受け止め対応したい。

**【質問】** 6年度より、こども未来課を設置予定だが、6年4月施行となるこども家庭センターの設置は、**健康福祉課長** 他市町村の先行例を参考に検討し、設

置に向けて取り組みたい。

**【質問】** 保護者への負担軽減として、学校給食費に対して半額程度の補助を6年度より実施する予定だが、給食費の無償化は町長の選挙公約であり、早期実現に向け取り組むべきでは、**町長** 財源は潤沢にあるわけではないので、しっかりと財源を確保した上で向かっていきたい。

**※3 みどりの食料システム戦略の推進は**

**【町長】** 5年度から5年間の計画期間とする長野県みどりの食料システム戦略推進計画を県と県下77市町村が共同により策定し、国の目標達成に向けた取り組みを県全体ですすめている。

今年は辰年、皆さんにとって天に昇る竜のように勢いのある年となりますようご祈念申し上げます

高田佳久のつぶやき

# 防災無線時報チャイムのガイドライン作成検討は

## 町長―区等の要望に基づき対応したい



つかだ かずお  
塚田 一男

### 防災無線時報チャイムは

**質問** 時報変更に至った理由は。

**町長** 従前から、防災無線のチャイム回数や音量等について、様々な意見をいただいていた。今回、生活様式の様式化から、騒音と感じられる方も一定数おられることから、防災無線の確認に必要な放送回数として12時の1回とさせていただいた。

**質問** 時報チャイム音量等での地区別苦情件数は。苦情理由は。

**危機管理課長** 記録がある



屋外作業などの時報と捉える住民がある防災無線スピーカー

範囲だが、合計14件。地区別では、東部12件、北部1件、不明1件。また、苦情理由は、生活

様式の多様化、夜勤明け、こどもが就寝中に起きてしまうなど。

**質問** 時報チャイムの音量低下した場合、緊急時の音量確保とのシステムは。

**危機管理課長** チャイム関係と緊急時に発する音量は分離された機能を有する。

**質問** チャイムの苦情に際し、当該地区の音量測定をしたか。

**危機管理課長** 測定はしていない。職員が現地に赴き、スピーカーから流れる音量を聞いて判断している。

**質問** 時報変更後、復活等に関する地区別の苦情件数は。

### 危機管理課長

10月1日にチャイムを正午1回への変更後の意見・要望件数は34件。地区別では、東部2件、南部10件、西部3件、北部2件、地区不明17件。

**質問** 屋外での作業や遊んでいるこどもなど、チャイム復活が必要と考えるがどうか。

**危機管理課長** 農業従事の方が多い区など、区等の要望を踏まえ、その総意として、10時、15時に鳴らしてほしい場所は、そのような形に復活させていただいた。

**質問** 今後は踏まえ、一定の運用ルール、ガイドライ

大谷選手から町内の小学校にもクラブが贈呈された。町内学童の野球人口増加につながってほしい

塚田一男のつぶやき

**危機管理課長** ガイドラインがあれば運営面では有用であり、検討余地はある。なお、基本的には、苦情が匿名でない限り場所を特定し、当該区の意向に基づき対応したい。

# 再生可能エネルギー利活用の考えは

町長一ポテンシャルは非常に高く、研究してすすめていきたい

## ※ 再生可能 エネルギーは

**【質問】** 現状認識と今後の活動は。

**健康福祉課長** 平成21年度

に策定した地域新エネルギービジョンに基づき、中小水力発電、温泉熱利用、雪氷熱利用、太陽エネルギー利用を重点プロジェクトとして取り組んでいる。環境省によると、当町の再生可能エネルギーポテンシャルは、一般家庭に換算すると24万世帯分と推計されているが、権利関係や活用方法に懸念事項があり今後の研究課題である。

**【質問】** エネルギーの地産地消という考え方はできないか。

**町長** 環境省のツールを活用すると、町内で23億円分



おだ たかし  
**小田 孝志**

※1 再生可能エネルギー：資源が再生されるエネルギー。太陽光、太陽熱、風力、水力、地熱などの自然エネルギー、生物を利用したバイオマスエネルギーなど。  
※2 デジタルサイネージ：電子看板。表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクターに映像や文字を表示する情報・広告媒体。

### 山ノ内町ゼロカーボンシティ宣言

#### 具体的な8つの行動方針

- ・CO<sub>2</sub>排出実質ゼロの町づくりに向けたロードマップの策定
- ・ユネスコエコパーク登録地域として生態系の保全と持続可能な利活用の調和
- ・再生可能エネルギーの研究と活用を推進
- ・施設や住宅などのエネルギー効率の向上
- ・持続可能な交通システムの確立
- ・農業・林業の持続可能性の確保と適切な森林整備
- ・廃棄物の少排出社会の実現
- ・環境教育（E S D）の一層の充実

のエネルギーを買っているという数値が出ているが、エネルギーをつくるポテン

シャルは400億円あるとのこと。災害時の対応も考

消は非常に重要と思う。どのやり方が当町に適している、環境負荷が少なく、しつかり町のエネルギーをつくれるかということの研究してすすめていきたい。

### 観光客向けの 案内の充実

**【質問】** 戸狩・湯田中インターの手前に「北志賀」の道路標識は必要と思うが。

**町長** 北信地区案内標識調整連絡会議の審議や道路管理者等の許可も必要。観光関連団体や観光客からの意見を伺いながら、適切かつ効果的な整備をすすめていく。

**【質問】** デジタルサイネージを有効活用してはどうか。

**町長** 現在道の駅に設置しており、令和元年にリニユ

ーアルした。今後はシステムのリニユール、費用、利用形態、道の駅以外の新しい設置場所を含め、有効活用について検討していく。

### 建設関連工事の 早期発注は

**【質問】** 閑散期である春先に工事ができるよう、2月〜4月に工事発注できないか。

**町長** 国庫補助金に係る県との協議や町財政部局との予算協議が調い、工事に係る県等への許可申請や地元調整などの問題がクリアできれば、状況に応じて発注できると考える。業界を越えて全国的にも人手不足は深刻となっており、建設業山ノ内会を通じ懇談できる機会を設けたい。



今年はスキー客、  
たくさん来ると  
いいな～!!

小田孝志のつぶやき

# 小中一貫校は考えられないか



とくたけ えいこ  
徳竹 栄子

※DMO：地域の多様な関係者も巻き込みつつ科学的アプローチをとり入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人。

## 町長—9年間学び深める小中一貫教育校を願う

**一貫教育の必要性は**

**町長** 小中一貫教育は今後ますます求められる社会になると考える。

**質問** ユネスコスクールを活かし9年間を通して学習することは、英語教育などにつながるかと考えられるが。

**町長** 100年に一度の大事業統合を急ぎつつも町の魅力と魅力ある学校づくりは一蓮托生。こどもたちにとって何がベストか考えたい。

**魅力ある学校の姿とは**

**町長** 教育内容と教育環境が整っていることである。

**質問** ソフト、ハード面分けた場合は。

**町長** ソフト面では、英語教育、SDGのESD教育の充実など。ハード面では自然環境の中に、たとえば木造の校舎、広い空間とグラウンドなど、一つの目安になると考える。

**町民への説明報告は**

**質問** 学校統合準備係の設置の流れ、魅力ある学校員

**町長** 12月現時点の状況は、最終的に取りまとめ本議会中に教育の方向性・イメージを見える形で示したい。

**英語科(特別教育)の設置を**

**町長** 小学校低学年から英語に慣れる環境の推進としてALT(外国語指導専門

**員)**を1校に一人以上常駐する計画をしている。

**スキー教室の充実を**

**町長** スキーに力を入れた

い。総合型地域スポーツクラブを中心にスノースポーツ推進の受皿づくりが必要

と考える。



狭いという中学校敷地。広い敷地が何より、何処に…

**観光局の組織構成は。**

**質問** まちづくり観光局として、評議員に、農業、商工、観光というメンバー構成が必要と考えるが。

**町長** 観光に偏らず、幅広いメンバー構成が重要と考えている。

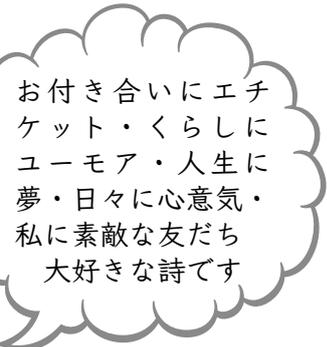
**質問** 4つの委員会の役割と報酬は。

**町長** 議題の検討、観光局へ提言する役割。報酬は現在考えていない。必要かどうかを検討していきたい。

**質問** 観光連盟では、5つの委員会、約36人の役員選出に大変苦慮している。特別団体賛助会員の人数不足の場合は。

**町長** 学識経験者、有識者なども必要と考える。

**町長** 観光連盟の副会長と



エチ合いに付き  
くらしにケット・  
人生にユーモア・  
心意気・日々・  
私に素敵なお友だち  
大好きな詩です

徳竹栄子のつぶやき

してなぜDMOにしなかったのか。

**町長** DMO検討には関わっていない。観光局の必要性と成功を願う思いで質問している。

**観光連盟関係者に対する思いを**

**町長** 20年に渡り観光産業を支え観光を大きくした。今まで素晴らしい活動に感謝と敬意を感じている。

**観光局に対する思いを**

**町長** 観光局として新時代に合う新しいやり方を模索し山ノ内ブランドの確立とともに、顧客満足度の向上町民が誇りに思い、地域全体が元気になるまちづくりを総括した法人を目指していきたいと思っている。

# 学校給食費無償化の考えは

町長—重要な課題として捉えている

**【質問】**物価高にもならない食当たりの変化は。

**【教育長】**学校給食センター運営審議会により答申を受けたところ、小学生は260円から310円で50円の増額、中学生は現行307円から366円で59円の増額が適正であるとの内容であった。給食の質を維持するため必要な額であると理解し、値上げはやむを得ないと考えている。

**【質問】**成長期の子どもへの食育の重要性は。

**【教育長】**将来にわたり健全で健康的な食生活を送るうえで、重要と考え、学校や家庭と連携してすすめることが大切と考えている。給食は生きた教材であり、献立を通じ、産地・食品の種類・栄養素などについて学び、給食を通じて食に関する

る知識や関心、食事マナーなども体得できる。

**【質問】**学校給食費の公会計の移行、無償化の計画は。

**【教育長】**公会計化<sup>※</sup>によって教職員の業務負担軽減や保護者の負担が軽減される一方、公会計化に必要な徴収



小学校の給食風景

システムの電算化、体制整備などの費用が必要となるため、国の推移を注視しつつ検討していく。

**【質問】**介護予防事業の取り組み状況は。

**【健康福祉課長】**地域支援事業において、体操、運動等の活動など、自主的な通いの場を実施する通所型サービスマや住民主体の自主活動として行う生活支援訪問型サービスマ、移動支援を行う訪問型サービスマがあるが当町では実施していない。

**【質問】**住民協働の支援サービスマは。

**【健康福祉課長】**社協が事務局を持ち活動している協議会的な組織があり、そこに登録されている団体が23団体ある。その中で様々な活動をしている。

**【質問】**带状疱疹ワクチン接種助成の必要性について。

**【健康福祉課長】**9月に県から、県が2分の1の補助を行った場合、市町村も補助を行うかとの調査があり、県が補助制度を創設した場合、当町では時期は未定だが利用したいと回答。

今後も県や近隣市町村の動向に注視し、前向きに検討していく。

**【町長】**職員の中にもかつたひともいる。引き続き健康福祉課と一緒に検討しながら、一番ベストな方法を探っていく。



あぜがみ けいこ  
畔上 恵子

※公会計化：学校給食費を町の歳入・歳出予算に計上し、議会の承認を経たうえで、町長が徴収・管理していくという方法。現在は、各学校の校長が徴収・管理する「私会計」

キラキラと神々しい程に輝きを放っている星々  
冬の空は一段と美しい

畔上恵子のつぶやき

# 防災無線の慣れ親しんだチャイム、要望地区でぜひ復活を



ゆもと こ  
湯本るり子

## 町長—コンセンサス（合意）があれば戻す

**質問** チャイムが、突然10月1日から正午1回だけになった。経過は。

**町長** 今回の件に限ると、9月に数回担当課と協議を行い、一日1回に変更した。

**質問** 生活様式の多様化というが、町民に充分説明がないままで、決め方が拙速すぎたと思うがどうか。

**町長** 生活スタイルが違う方にとって、プッシュ型の要は拒否できない音は苦痛である。すぐに対処すべき問題と捉え、区や議員に相談なく取り消した。まずは防災無線の機能を優先させ、一日一回にして、区へ相談しコンセンサスがあれば戻すという方向を出した。

**質問** 南小の児童から、屋外放送のチャイムをやめたのはどうしてかと聞かれた。

**町長** 外放送のチャイムをやめたのはどうしてかと聞かれた。

**町長** 今回の件に限ると、9月に数回担当課と協議を行い、一日1回に変更した。

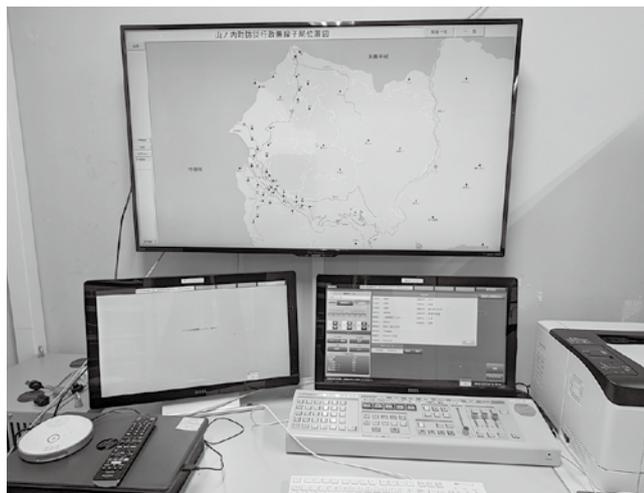
**質問** 生活様式の多様化というが、町民に充分説明がないままで、決め方が拙速すぎたと思うがどうか。

**町長** 生活スタイルが違う方にとって、プッシュ型の要は拒否できない音は苦痛である。すぐに対処すべき問題と捉え、区や議員に相談なく取り消した。まずは防災無線の機能を優先させ、一日一回にして、区へ相談しコンセンサスがあれば戻すという方向を出した。

**町長** 外放送のチャイムをやめたのはどうしてかと聞かれた。

**町長** 外放送のチャイムをやめたのはどうしてかと聞かれた。

**町長** 外放送のチャイムをやめたのはどうしてかと聞かれた。



役場4階にある防災無線基地局

**質問** 地域食材の活用について、地域の農家と話し合い、情報を共有し、協力を求めているのはどうか。

**教育長** 食材について、町特産品や地域でとれる食材

**教育長** 食材について、町特産品や地域でとれる食材

**教育長** 食材について、町特産品や地域でとれる食材

**学校給食は**

**質問** 今後、給食用食材を用意するための組織作り、枠組みを作ることはどうか。

**教育次長** 今後の取り組みは。

**教育次長** 今後の取り組みは。

**町長** チャイムがどれだけ農家や町民に慣れ親しんだものかということは非常によく分かったが、声を上げていく方々の一人ひとりの町民の権利も守っていききたい。

**質問** 給食費の無償化について今後の取り組みは。

**教育長** 現在、給食費の半額程度町が補助するなど段階的な負担軽減を検討している。

**教育長** 現在、給食費の半額程度町が補助するなど段階的な負担軽減を検討している。

**小学校の統合問題は**

**質問** 総合教育会議の経過を見ると、平成29年8月の会議で中学校敷地内に小学校校舎を増築して統合することは断念したと聞いているが、事実か。

**教育次長** このときは、プール、格技室、給食センターはそのまま残り、中学校の校舎を増築するという計画で、狭いということと断念したと理解している。

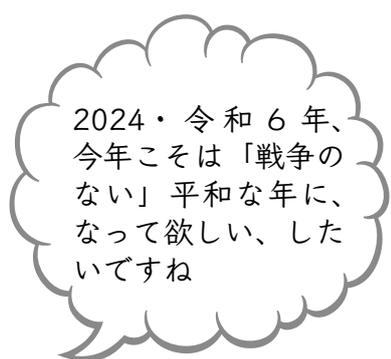
**教育次長** このときは、プール、格技室、給食センターはそのまま残り、中学校の校舎を増築するという計画で、狭いということと断念したと理解している。

**住民懇談会での意見や質問は160件あったというが、どうなっているか。**

**教育次長** 学校の統合に反対や賛成の意見、施設の後利用の関係、様々な分野にわたるご意見をいただいた。今後の内容に反映したいと考え、現在詰めの検討をしている状況。

**教育次長** 今年度中に統合に関する基本方針を決定する予定に変更はない。教育委員会より提示されている。検討作業をすすめている。

**教育次長** 今年度中に統合に関する基本方針を決定する予定に変更はない。教育委員会より提示されている。検討作業をすすめている。



2024・令和6年、今年こそは「戦争のない」平和な年になって欲しい、したいですね

湯本るり子のつぶやき

# 志賀高原分遣所の24時間体制再開の必要は

## 町長—今後どうすべきかを検討していきたいと思っている

**【質問】** 地元住民の安心安全は当然のことながら観光客受け入れの観点からも、志賀高原分遣所の24時間体制再開は必要ではないか。

**町長** 今後、経過や出動件数などを岳南消防とも共有しながら検討していきたいと思っている。

**【質問】** 肺がん検診の対応としてヘリカルCT検査導入は。

**健康福祉課長** 精密なエックが可能だが被曝量や要再検査率も高まり身体的負担がかかるためヘイスモーカーやご家族に肺がんを患ったことがある方等には必要性があるということを知ることができるよう広報に努めていく。

**【質問】** 町内学校の行事等に議員として呼びびたいしているが、趣旨は。

**【教員長】**

議員をはじめ地域の多くの皆様に、現場の様子を丁寧に伝え、地域の方々が山ノ内らしい保育や学校教育のすばらしさをご理解いただけたらと考えていますし、地域ぐるみの子育て環境の充実のため連携

や体制づくりも、一層強固になると期待している。

**【質問】** 総合型地域スポーツクラブの、各種イベント・教室等を開催する際の、選考基準や判断基準は。

**【教員長】** 選考基準は、コトによる定期的な開催が可

能か、必要な設備環境が充実しているか、安全面を担保できているか、用具類の購入費は適当かなどを総合的に判断。スキーに関しては、従来から当町を象徴するスポーツの重要な柱。総合型地域スポーツクラブ設

立に当たっては、町長からもスノースポーツを重要な柱として入れるよう指示を受けているので、しっかりと柱として組み入れる方向で準備をすすめている。



予期せず起こる渋滞 現体制で本当に  
万事対応できるのか



こばやし ひとし  
**小林 仁**

※ヘリカルCT検査：患者の周囲を、360度からX線を連続回転してあてて、撮影するCT検査方式

どんな年になるのか  
全ては自分次第。  
それがまた、楽しい

小林 仁のつぶやき

# 町に不足しているスポーツ施設とは



わたなべ まさお  
渡辺 正男

## 町長―体育館、町民プールも必要

### 総合型地域 スポーツクラブ

### 設立の進捗状況は

**町長** 年齢、興味・関心、技術・技能レベル等に感じられた様々なスポーツの機会を提供する多目的・多世代・多志向のスポーツクラブ。こどもたちの健全育成や体力向上、親子や家族など多世代間の交流、高齢者の生きがいづくり、地域の健康水準の高揚による医療費の削減、地域コミュニティ活性化など、多くの効果が期待できる。6年4月設立に向け準備をすすめている。

**質問** 設立準備委員会での



第3回やまのうちスポーツフェスタ（昨年9月10日）

検討状況は。

**教育長** 4年度以降、毎月

1回準備委員会を開催し、クラブ設立後の5年間を見

据えた事業計画を策定中。

**質問** 準備委員会のホームページの更新が止まっている。議事録は4年12月までしか確認できない。

**教育次長** 改めて、ホームページへ確実に掲載して、皆様に情報を提供させていただきたい。

**質問** 予算・種目・会費・運営体制はどうか。

**教育長** 現在は教室参加者からの入会金や会費のほか、スポーツ振興くじ助成金を主な収入とし、その中からイベント開催や各教室の経費ほか、必要なものの支出を想定している。種目は、キッズスポーツ教室を中心

とした9種目、サッカー、バレーボール、ソフトボール等に加え、今後はスキーやスノーボードをはじめとする冬のスポーツ種目のほか、ヒップホップダンスや健康づくり教室等を想定したシニア向けのメニューも取り入れていく予定。現在、加入者の会費は月1000円としているが、今後の運営で最も重要な部分なので、事業計画の中で慎重に判断し検討していく。運営体制は地域おこし協力隊員を中心に、6年度からは協力隊員を増員して運営していく。

また、町全体のスポーツ振興と、クラブ運営との関わりについても9月から着任した地域活性化企業人を中心に取り組んでいく。

### 新たなスポーツ施設の考え方は

**質問** 町長として、体育施設が不足しているという発言があった。今のところ実施計画には上がっていないが、将来的に体育施設のあり方をどう考えているか。

**町長** 体育館は必要だし、町民向けのプールも必要だと思っている。高齢化社会で、高齢者がリハビリ等で運動機能を維持するという意味でプールは非常に有効と考えている。今後、学校の統合でも、学校運営のスリム化という面でも、学校それぞれにプールは必要ないと思っていて、町民プールがあっても、町民も学校教育でも使えれば一石二鳥になると思っている。

被災された方々にお悔やみとお見舞いを。かつての珠洲原発予定地、寺家地区は壊滅状態。もし、と考えると…

渡辺正男のつぶやき

# 新たな観光財源の検討は

町長—観光振興に係る新たな財源確保を検討している



しろとり きんじ  
白鳥 金次

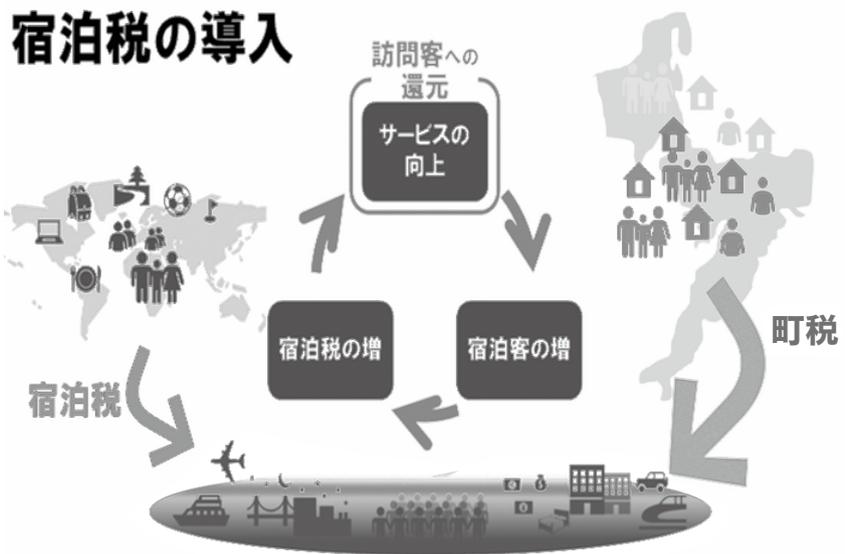
**町長** 新たな観光に係る財源確保の方法として、宿泊税のような法定外地方税の導入や観光客から任意で集める協力金、観光振興における受益者から資金を集めて施策を実行する分担金や負担金などが考えられるが、現在長野県では、新たな観光振興財源として宿泊税の導入に向けた検討がすすめられている。検討に当たっては、当町もワーキンググループに参画して、観光振興に係る新たな財源確保を検討している。一方で、県内でも多くの宿泊施設を有する町として、長野県において宿泊税が導入された場合、分配方法がどのようになるのか危惧されているところでもあり、早急に町独自の観光財源として宿泊税を検討していく必要がある

と考えている。12月7日に宿泊税の導入に向け、宿泊施設の皆様と、意見交換会を予定している。宿泊税の導入に当たっては、行政需要の内容と具体的な取り組みに当たる使途、課税した場合における税率や徴収方法、さらに税を課すことによる関係者への影響など、導入に向け、理論的な妥当性が求められるとともに、総務省との協議、同意も必要になっていくので、慎重に審議をすすめる中で検討していきたい。

**質問** 全国で導入している自治体の数は、**観光商工課長** 平成14年、国内で東京都が初めて導入。その後、大阪府、京都市、金沢市、福岡県、福岡市、北九州市、長崎市、また、町村では北海道の倶知安町

で導入してきている。都府県レベルでは3、市レベルでは5、町村レベルでは1、全部で、現在9自治体で導

## 宿泊税の導入



使途を明確にし、活性化につなげたい

入されている。

**質問** 観光振興に係る使途として体育館の建設は。**町長** 体育館に使うという用途は正直なところ考えない。どちらかというところ、観光にしっかりと直接的に関係のあるものを優先的に使っていきたいと思っています。観光の公共交通の整備例えば、シャトルバスの無料運行などの環境整備に使うべきと思っています。そのほうが宿泊業、スキー産業を営まれている皆さんにとってはプラスなところだと思っています。国内外への山ノ内町のプロモーションというところにも使つのが、まずは優先的かなと私自身は思っています。

1校統合は登竜門  
竜頭蛇尾…  
竜の額の珠を取る…  
雲は龍に従い、  
風は虎に従う故に、  
己を磨く…

白鳥金次のつぶやき

## 総務産業常任委員会

10月31日(火)、11月1日(水)に管外視察を行いました。今回の視察先として、デマンド交通、再生可能エネルギー、観光DMOをテーマに、山梨県富士川町、神奈川県南足柄市、箱根湯ノ花プリンスホテル、箱根町を選定しました(小田孝志 副委員長)。

### 富士川町 デマンド交通システム

町が運行するバスは3種類あり、その一つがデマンド交通である。電話予約による「区域運行」と時刻表による「定時定路線」の2方式を採用している。10人乗りのワゴン車3台で運用車は運行業者(町内タクシ業者)が所有し、購入費の1/2を町が補助している。

「区域運行」は平日のみで、1日9便、希望の乗降場所を乗合いで回る。完全予約制で、8時15分から16時まで運行。2名体制での電話予約受付。料金は1回300円、高齢者・障害者は100円、中学生以下は無料。運行時間の30分前までに予約。利用登録者は2005人(人口の14.1%)、うち高齢者は1390人である(登録者の69.3%)。

協議会を設置して予算編成や



電話予約センター

運営を行っている。令和5年度予算は2690万円で、町負担金を収入としている。運賃は運行業者収入。主な支出は、運行委託料2000万円、オペレーター1人件費250万円、システム保守およびリース料など。利用者アンケートでは、高齢者の交通手段として定着、利用者の91.2%が制度継続を希望している。

当町では試験運行段階であり、運行経過を見守りたい。

### 南足柄市 小水力発電設備



小水力発電設備

発電設備は、狩川にある矢倉沢浄水場に設置され、川からの入水を利用している。取水口は1km上流にあり、その落差35mを利用している。平成20年5月に完成し、設置費用は5000万円。NEDOの補助対象事業(1/2が補助)で導入。出力は

14.1kW/h、主に浄水場の電力を賄っており、余剰分は東京電力に売電、年間約70万円の収入を得ている。メンテナンスを含め、日々の管理は民間会社に委託。委託料は年間20万円。CO<sub>2</sub>削減量は、年間約67t。河川には水利権等の利害関係や規制があり実現化において難しい点が多いが、当町には適地が多く、ゼロカーボン戦略面からも前向きに検討する必要があると感じた。

### 箱根湯ノ花 プリンスホテル バイナリー発電設備

温泉蒸気を利用したバイナリー発電設備を導入し、6月1日から稼働。ホテル内で使用する電力の約20%を賄うことができる。投資額は1億2300万円(国補助1/2)で15年償還。CO<sub>2</sub>削減量は年間187



バイナリー発電設備

### 箱根町 観光DMO (一般財団法人 箱根町観光協会)

t(森林面積21.3ha分)、CO<sub>2</sub>排出量は63%、年間700万円の削減が可能である。温泉および蒸気活用も可能なことから、当町でも適地は多いが、費用対効果を考えると現状の補助制度では難しいと感じた。



全域が富士箱根伊豆国立公園に含まれ、日本ジオパークに指定されている。過去5町村が合併し、各地域の観光協会は10団体ある。これら団体の合意形成をもとにALL箱根で数値に基づいた戦略立案、推進を行っているのが箱根DMOである。2018年観光庁登録DMO取得。観光消費3000億円を目指し、DMOが各地域や官民の潤滑油として機能していること。

## 社会文教常任委員会

10月10日(火)～11日(水)で管外視察を実施。  
今回の視察先として、子育て窓口の一本化、介護保険事業のボランティアを活用した先進事例、学校給食費の無償化、地球温暖化防止対策実行計画をテーマに、駒ヶ根市、山梨県北杜市、甲州市、甲府市を選定しました(畔上恵子 副委員長)。

# 先進例に まちづくり

### 子育て支援の窓口一本化 駒ヶ根市

平成16年3月に構造改革特区の認定を受け、同年4月より子ども課(こども行政の一元化と幼保小中の連携)が創設されました。

現在、保育所関係事務は児童福祉法の改正により、教育委員会への委任が可能となり、事務は教育長の補助執行で対応しています。予算関係では事務区分ごとに民生費・衛生費・教育費に分散しています。令和6年4月に施行となる「こども家庭センター」の設置に向け教育委員会組織再編を検討されています。当町においても新たな行政組織の検討をすすめています。

### 地域支援事業の取り組み 北杜市



介護予防・生活支援サービス事業(要支援1・2)を展開し、支え合い外出支援サービス(生活支援体制整備事業)を平成29年度から令和4年度までモデル事業として行っています。山ノ内町では、介護認定率が19.2%と高いことから各種介護予防サービスを充実させることが課題であると感じました。

また、一般介護予防事業では、介護予防サポーターリーダー養成事業(高齢者自らの積極的な健康づくりや介護予防への取り組み)を推進しています。元気な高齢者が活躍できる場をつくることの重要性を認識しました。

### 学校給食費の無償化政策 甲州市

平成27年度より給食費の公会計を実施。学校での徴収等の事務を移行、令和2年度に新型コナウイル感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、5～9月の5か月間を無償化としました。3年度より保護者の負担軽減をはかり、安心して子育てできる環境づくりのため、完全無償化を実現しました。3・4年度に無償化の効果の把握や今後の検討資料のためアンケート調査を実施、9割の保護者が継続を希望と回答しています。



### 地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)の策定 甲府市

平成22年度 地球温暖化対策  
地域重点ビジョン策定。

23年に実行計画(区域施策編)を、27年実行計画(事務事業編)を策定。

令和3年2月「ゼロカーボンシティ」を宣言。  
令和5年3月に地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を改定しました。

現在まで率先的な、公共施設の省エネルギーや太陽光発電システム等の再生可能エネルギーの導入に取り組み削減につとめてきました。

温室効果ガス排出の削減目標  
2013年度(基準年) 126.9万tCO<sub>2</sub>

2030年度(中間目標) 2013年度比△46%  
2050年度(長期目標) CO<sub>2</sub>実質ゼロを目指すとしています。山ノ内町においても今後の温暖化対策実行計画(区域施策編)作成の参考となりました。



## 皆さんからの陳情

受理番号	件名	陳情者	採決結果
陳情第6号	「健康保険証の存続」に関する意見書の提出を求める陳情書（9月議会 継続審査）	長野県保険医協会 会長 宮沢 裕夫	不採択 原案に 賛成2人 反対10人

### 原案に賛成の討論

渡辺 正男

マイナ保険証の廃止を求めているのではなく、現行保険証と両方存続という立場の陳情。マイナ保険証の利用率は、4月の6.30%をピークに6か月連続で減少し、10月は4.49%に止まった。県世論調査では、健康保険証を廃止する政府方針に対し「不安の方が大きい」が67%、「期待の方が大きい」の21%を大きく上回り、不信感が強い。保険証廃止は国民の理解が得られていない。

## 議会側からの発委

	件名	提出者	採決結果
発委第5号	ガザ地区における即時停戦と人質の解放、危機的な人道状況の改善を求める決議について	議会運営委員会	可決 全会一致

### 賛成討論

湯本るり子

イスラエルのガザ侵攻による悲惨な状況が連日報道されている。新聞では、病院が攻撃され抗生物質も痛み止めもなく、必要な麻酔がない中で帝王切開が行われ女性と赤ちゃんが命を落とすこともあったと報じている。日本は、国際紛争解決の手段としての戦争を永久に放棄した憲法を持つ国である。侵略戦争に命をかけて反対した唯一の党の議員として、本決議に賛成する。

## 議会全員協議会

### 第14回（11月6日）

#### (1)議会側からの提出案件

- ①コンプライアンス研修ビデオ視聴
- ②議員間討議テーマ「地域と選挙のあり方と議員のなり手不足」

### 第15回（11月22日）

#### (1)執行機関側からの提出案件

- ①令和5年人事院勧告に係る給与条例の改正等について
- ②令和6年度組織機構の見直しについて

#### (2)議会側からの提出案件

- ①議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について
- ②アメリカ・ベイル町の視察研修の報告について
- ③北方領土返還要求署名活動の協力について

### 第16回（11月30日）

#### (1)執行機関側からの提出案件

- ①戸籍法改正に伴う手数料条例改正について
- ②屋外防災無線のチャイムについて
- ③（一財）山ノ内町まちづくり観光局の発足について
- ④第6次総合計画前期基本計画及び第2期山ノ内町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

- ⑤第2期山ノ内町まち・ひと・しごと創生総合戦略、第3期改訂について
- ⑥実施計画（令和6年度～令和8年度）について
- ⑦令和6年度からの指定管理者の選定について
- ⑧新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の追加について

#### (2)議会側からの提出案件

- ①管外視察の実施状況について
- ②議会報告会について

### 第17回（12月6日）

#### (1)議会側からの提出案件

- ①議会のマスコミ報道に係る対応について

### 第18回（12月15日）

#### (1)執行機関側からの提出案件

- ①小学校統合について
- ②丸池の油漏れについて

#### (2)議会側からの提出案件

- ①北信広域連合選挙管理委員会補充員候補者の推薦について
- ②山ノ内・足立友好自治体議員連絡協議会の開催について
- ③国民健康保険特別会計などの研修について
- ④一部事務組合や公社等に対する一般質問について

## 第17回

# 議会報告会を開催します

期 日	曜 日	時 間	会 場
1月21日	(日)	15時から	すがかわふれあいセンター
1月26日	(金)	19時から	和合会館
1月27日	(土)	15時から	ほなみふれあいセンター
1月30日	(火)	19時から	文化センター
2月7日	(水)	17時30分 から	よませふれあいセンター

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2～4年度は議会だより誌上での開催としておりまして、今年度は、町内の5会場で左の表のとおり開催する運びとなりました。大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

## 公開します 審議議案と議員の賛否 令和5年第5回定例会

上程議案	賛成：○ 反対：● 欠席：欠	結果	小田	畔上	小林	志鷹	塚田	湯本	山本	徳竹	高田	渡辺	山本	小林	白鳥	湯本
全賛…全員賛成で可決・承認・認定・採択・同意 賛多…賛成多数で可決・承認・認定・採択・同意 賛少…賛成少数で否決・不承認・不認定・不採択・不同意			孝志	恵子	仁	慎吾	一男	るり子	岩雄	栄子	佳久	正男	光俊	克彦	金次	晴彦
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度一般会計補正予算（第4号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度公共下水道事業会計補正予算（第1号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度水道事業会計補正予算（第1号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度一般会計補正予算（第5号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度水道事業会計補正予算（第2号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度町営住宅長寿命化型改善事業改善箇所買取契約の締結について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
志賀高原地域交流センター指定管理者の指定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
志賀高原総合会館98指定管理者の指定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
情報物産館・湯田中駅前温泉公園指定管理者の指定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
渋公園指定管理者の指定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
けやき児童公園指定管理者の指定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
金安コミュニティ消防センター指定管理者の指定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
渋温泉コミュニティ消防センター指定管理者の指定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
役場庁舎使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
組織条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度一般会計補正予算（第6号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情書	賛少	●	●	●	●	●	○	○	欠	●	●	○	●	●	●	○
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ガザ地区における即時停戦と人質の解放、危機的な人道状況の改善を求める決議について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○

## 編集後記

新年を迎え、令和6年がスタートしました。今年の干支は辰年。新しい物事が動き出し、活気あふれる年、これまで積み重ねてきたことが形を成す年。十一支の中で最も縁起の良い干支とされており、運気が上昇して夢がかないうすい年といわれております。

ところで、議員は年賀状を出してはいけないことを存じていたか。公職選挙法によると、政治家は自身の「選挙区内にある者」に年賀状や寒中見舞状、クリスマスカードなどの「挨拶状」を出すことは禁止されています。ただし、年賀状を受け取ることはできず、またその答礼として返事を出すことは「自筆によるもの」に限り認められています。このような規定があるため、議員が年賀状を出すことは違反になります。

なんとも日本の古き良き慣習を禁止されるのは、一抹の寂しさを感じますが、立ち位置をしっかりと認識してまちづくりに努めて参ります。

皆様にとって健康で、明るく、活気のある年になるようご祈念申し上げます。

（小田 孝志 記）